

令和2年3月7日

令和元年度 学校関係者評価報告書

学校法人 山口学園
長崎公務員専門学校
学校関係者評価委員会

令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 関連業界等関係者（公務員）
- ② 関連業界等関係者（公務員）
- ③ 卒業生
- ④ 卒業生
- ⑤ 教育に関し知見を有する者
- ⑥ 教育に関し知見を有する者
- ⑦ その他校長が必要と認める者
- ⑧ その他校長が必要と認める者

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 令和元年6月22日（会場 長崎公務員専門学校2号館2階）
第2回委員会 令和2年2月22日（会場 長崎公務員専門学校2号館2階）
第3回委員会 令和2年3月7日（書面決議）

3 学校関係者評価委員会報告

別紙：「関係者委員会の評価、意見及び提案」のとおり

以上

別紙 関係者委員会の評価、意見及び提案

I 自己評価に対する評価について

1) 評価項目別取組状況

1. 教育理念・目的、育成人材像	(1) A 評価でいいと思う。 (2) 十分だと思う。
2. 学校運営	2-4「業務の効率化が図られているか」について (1) 業務の効率化という点で会議録の AI 化も検討してはどうか。業務時間も半減するというデータもある。 (2) 業務の効率化において、1 番大切なことは無駄な仕事を増やさないこと。しなくていいという仕事はしないというトップの判断も大事。1 人の人に仕事が集中しないことが大切である。
3. 教育活動	3-4「教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか」について (1) 3-4 の指導力とは何か？ 数値化できないため評価することが難しい。 (2) ニーズを捉え、それに沿った研修を行えばよいのではないか。 先生方が求めているものを集約化したうえで、研修を実施してはどうか。 (3) 学校側が求めている人材を先生方に伝えていくことで資質の向上につながるのではないか。 (4) 先生各自が今後の学校運営の在り方について考えることができれば、自身に必要な研修というものが見えてくるのではないか。 (5) 指導力とは、社会性を身に付けた人材を育成することが 1 番大事と考える。 (6) 教育現場では、先生同士で授業を見せ合いお互いを高めあう取り組みを行っていた。仲間で育てあう環境が大事。 (7) 職員会議で成功事例や悩みを共有していくのもよいのではないか。 3-2「成績評価・単位認定、課程修了認定の基準は明確になっているか」について (8) 全体に言えることとして、B 評価となった項目についてはその評価理由を明記したほうがよい。一見すべて A 評価と変わりがないように見える。 (9) 7 月卒の学生については評価基準が厳しすぎるのではないか。4 ヶ月という短期間で 90% は難しい。全学生のアンケート評価で判断してよいのではないか。
4. 学生指導等	意見なし

5. 学修成果	<p>5-1「目標とする1次合格率が達成できたか」について</p> <p>(1) 1次合格率100%は難しいのではないか。95%程度でもよいのではないか。</p> <p>100%は真実味がないと思うので、到達できる目標を設定したがよいのではないか。</p> <p>5-3「長欠及び成績不振による退学率の低減が図られているか」について</p> <p>(2) 退学率の目標の設定は5%くらいでいいのではないか。</p> <p>(3) (高校教員として)3%は妥当である。高校側はそういった数値を比較することもあるため低く設定するほうが良い。</p> <p>(4) 進路変更等さまざまな事情でやめる人は必ず出てくるのだから、3%という数値には無理があると思う。</p>
6. 学生支援	<p>(1) (保護者として)良いこととして、出欠状況を教えてもらえてよかった。残念なこととして、障がい者枠の実績をもっと教えてほしかった。チェック済みといわれた願書の記入漏れがみられた。先生に相談の電話をしたが、その後どのように対応してくれたか折り返しの連絡がなく、どこまで連絡していいかわからなくなった。</p> <p>(2) 障がいのある学生をはじめ、指示の仕方の多様性について教職員は勉強していく必要がある。配慮希望者に対しては、配慮計画を家族に説明する必要がある。</p>
7. 教育環境	<p>7-2「防災に対する体制は整備されているか」について</p> <p>(1) 本館が努力義務なしなのであれば、記載する必要がないのではないか。</p> <p>(2) 時には、地震発生時の防災訓練をしてもいいかと思う。</p>
8. 学生募集	<p>8-1「高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか」について</p> <p>(1) (高校教員として)年2回+校内ガイダンスで対応してもらっているため十分だと考える。合格者のポスターは在校生に良い影響を与えるので継続してほしい。</p>
9. 財務	特になし

10. 法令等の遵守	<p>10-2「個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか」について</p> <p>(1) ユーザー権限とは何か？</p> <p>学校側：学生管理システムにおいて、学生個人の住所等は事務方しか閲覧できないように設定している。</p> <p>(2) 根拠資料 76 ページの 14 条について</p> <p>第 13 条ではなく、第 11 条に該当する場合ではないか？</p>
11. 社会貢献・地域貢献	特になし

2) 本年度の総合的な評価結果

<p>(1) 合格率だけの評価で B にしているが、教育目標である高い倫理観や人間性の評価を加味すれば A 評価でよいのではないか。</p> <p>(2) 総合評価の評価基準を S・A・B・C にしてはどうか。</p> <p>(3) 大学は AA・A・B・C で評価している。</p> <p>(4) 総合評価も 5 段階評価しないといけないのか。文章でもいいのではないか。</p> <p>(5) 分野ごとにウエイト付けすれば、総合評価も変わってくるのではないか。</p>

3) 今後取り組むべき課題（改善策）

<p>(評価項目 5-1 より)</p> <p>昼間部 1 次合格率 <u>100%</u> の達成</p>	<p>(1) 具体的な取り組み方法が精神論になっているのではないか。</p> <p>学生同士でコミュニケーションをとることが退学率 3% 以内に直結するのか。</p>
<p>(評価項目 5-2 より)</p> <p>昼間部突破率（最終合格者数 / 1 次合格者数）<u>90%</u> の達成</p>	<p>(2) 現代は、言語化できる学生が少ない。学生同士で、書く・読む・聞く・話すといったコミュニケーションをとる場づくりを提供してあげることによって 2 次対策にも生きてくるのではないか。</p>
<p>(評価項目 5-3 より)</p> <p>昼間部退学率 <u>3%以内</u> の達成</p>	<p>(3) 全項目が「5. 学修成果」に関するものというのが気になる。5-3 「長欠及び成績不振による退学率の低減が図られているか」はやれることはやったうえでの結果だから外してもよいのではないか。</p> <p>(4) 生徒・保護者・教員の 3 分野について設定してはどうか。課題として挙げられた、教職員の研修・保護者への情報提供を追加するなど。</p> <p>(5) 保護者という言葉が好ましくない。保証人または後見人。</p>

Ⅱ 学校運営の改善に関する提言

- (1) 同窓会会長として、同窓会の運営に携わっているが、教職員と学生の連携がとられており、良い印象を受けている。
- (2) 自己評価をしっかりとできているという印象。
- (3) ライバル校にはない、人間形成に力を入れていることを大きくアピールできれば大きな武器となっていく。